



2/22 しこちゅ〜紙と神の物語



このツアーは、三島地域の紙の歴史や文化、歴史遺産について学んでもらうことを目的として、市観光協会が開催しています。今回は市内から6名が参加し、興願寺、三島神社、お台場跡、中通り商店街など、ガイドの説明を受けながらそれぞれの地点を巡りました。

3/16 消防団車両貸与式



消防防災センターで行われました。今年度は金生分団第四部と天満分団第三部にポンプ車が、新宮第四分団に小型ポンプ付積載車が貸与され、新宮第四分団が「今後もこの車両を活用し、地域防災に貢献できるよう努力してまいります」と感謝の言葉を述べました。

2/23 第2回四国中央いのちの講演会



しこちゅ〜ホールで開催されました。市民合唱団川之江によるコーラスが披露され、主催者である川之江ワン&オンリーの会の活動紹介などを行ったあと、詩人・坂村真民さんの末娘である西澤真美子さんによる講演「念ずれば花ひらく」が行われました。

3/29 疎水感謝祭が開催されました



上柏町の戸川公園で開催されました。疎水感謝祭は、銅山川疎水の恵みに感謝し、銅山川分水という偉業を果たした先人たちの遺徳をしのび、これを後世に伝えていくために上柏公益会（片岡晶会長）が毎年開催しているもので、今回で48回目となります。

市長の
ひとりごと



四国中央市長
篠原 実

心にひっかかり、なかなか取れないものがある。それは、相手がいることもあれば、自分の内なるものもある。この職責のなかで、一日の死亡通知の確認というものがある。自分の人生の縮図のように見えることがある。たくさん思い出がある人もいれば、まったく接点のなかった人もいる。間違いなく人生一回きりの通知である。このコピー用紙の中にある人名は、重いものであると思う。

ある時、ある人の名前に遭遇した。がぁん、となんにも返答ができず、ただただ叱られた人であった。その問いに答える機会はたくさんあった。でもしなかった。そのために多くの人の名前を出さなくてはならなかった。そうしても、そこから何かが生まれるということであれば、また話は別であるが、そうとは思えなかった。自分の心の中にしまっておけばいいやと思った。

今、この事実遭遇すると、少し複雑な気持ちを通り過ぎた。後悔とか反省のような類いではない。強いて言えば、懐かしい感情に近い。上着をハンガーに掛けたとき、左右のバランスが少し崩れている感じである。市民のみなさんもそんな人間関係ありませんか？

新型コロナウイルスで、辛く、うっとうしい思いをされている方がたくさんおられると思いますが、私もその中の一人です。辛抱して頑張りましょう！

「トンネルには、必ず出口はある」